

## 今年も走りました！RUN伴2018

非日常の体験が、認知症の人々の日常を変える



RUN伴は、認知症の人や家族、支援者、一般の人がリレーをしながら、一つのタスキをつなぎゴールを目指すイベントです。タスキをつなぐという「非日常的な」体験・出会い・気づきから、認知症の人と一緒に誰もが暮らしやすい地域づくりを提案し、それぞれの「日常」が変わっていくことを目指しています。

今年のテーマは「世界をオレンジ色に染める！」(<http://runtomo.org/>より)

院内で参加者を募ったところ医師、看護師、管理栄養士、精神保健福祉士等、実に多職種の職員から参加希望がありました！

スタート地点の新青森駅を正午に出発。ゴールの夏泊半島・大島パークまでの約40kmを9名のランナーと応援キッズランナー2名、全行程の伴走ランナー1名で見事完走！（※コース途中の青森市役所駅前庁舎からリンクステーションホールまでは、ひまわり生命のランナーがタスキをつなぎました。）

当日のコンディションはランニングには少々つらいくらいの晴天で最高気温32.9℃！ランナーの中には最強の晴れ男・晴れ女が紛れ込んでいたようです。誰かが走ると皆で声を掛け合い、励まし合って前へ進む。応援に駆け付けたキッズが急遽ランナーとして参加したり、家族の伴走に支えられながら親子で走ったり。オレンジ色の揃いのTシャツを着た集団は、とても賑やかに青森市内を縦断しました。午後5時20分、事故や怪我なく無事にランナー全員笑顔でゴールテープを切ることができました。

スタートからゴールまでつながった1本のタスキにはランナー全員が名前を書きました。このタスキは次の地域へ渡され、新しいランナーたちの名前が加わります。そしてその地域を駆け抜けて、また次の地域へ渡されます。1本のタスキがオレンジ色のTシャツのランナー達によって日本中を旅するのです。今日もどこかで誰かと誰かをつないでいると思うと、自分が走った時の気持ちや感動が思い出されたり、見知らぬ地域の認知症にかかわる人たちに想いを馳せたりと気持ちが温くなるのを感じます。

きっと来年もまたオレンジ色のTシャツのランナーたちがタスキをつなぐことでしょう。見かけた際はランナーへの温かい声援よろしくお願ひいたします。





# 認知症サポーター養成講座のご案内

認知症サポーターは、なにか特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、認知症のある人やその家族を温かく見守る応援者です。

認知症は、誰でもなる可能性がある病気です。他人事ではなく「自分の問題である」という認識を持つことが大切です。この機会に、あなたも認知症サポーターになりませんか？

当センターには講師がおりますので、5名以上の参加で講座を開催することができます。詳しくは、当センターまでお問い合わせ下さい。

## 認知症疾患医療センター研修会を開催しました

H30年8月23日に青森市役所と共催で市民向けの研修会を開催しました。

研修では当センターの認知症認定看護師からわかりやすく認知症の症状等について説明を行い、参加者から意見等活発な発言をいただきました。

H30年9月27日には東地方保健所と共催で東青地区の高齢福祉担当者が集まり、各地域の実情を情報交換するとともにセンターと連携を図った事例報告等を報告しました。



## 認知症疾患医療連携協議会を開催しました

H30年7月27日にアピオあおもりにて認知症疾患医療連携協議会を開催しました。

協議会では昨年度の当センターの実績や今年度の取組などについて報告を行い今後の当センターの在り方などについて活発な意見交換が交わされました。また、協議会委員からは認知症の早期発見と医療連携について話題提供もあり内容の濃い協議会となりました。



## 認知症認定看護師による 専門相談をおこなっています

毎週水曜日  
9時～16時

※要予約

相談は無料です。

TEL:017-788-2988



## 受診を希望される方へ

### 予約時間

	月	火	水	木	金
9時	○	○	○	○	○
10時	○	○	○	○	○

あらかじめ、電話予約が必要です。  
【認知症相談】017-788-2988

### 発行者

青森県立つくしが丘病院  
認知症疾患医療センター運営チーム  
〒038-0031  
青森市大字三内字沢部353-92  
(代表電話) 017-787-2121

認知症認定看護師とお話したい  
とお伝えください。

